# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	西巣鴨・学びの保育園
活動日時	令和6年 12月 25 日(水)
クラス名(年齢)	5 歳児
年間テーマ	自然

#### 1. 活動テーマ

<テーマ>

#### 稲から玄米を取り出そう

### <テーマ設定理由(子どもの姿)>

稲を収穫したが、「あれはどうやったらお米になるの?」と質問した 子どもがいたため

#### 2. 活動スケジュール

栽培した稲を持ってきて、牛乳パックでもみと穂に分ける。もみを すり鉢で擦りながらもみ殻を息で吹き飛ばし、玄米を取り出す。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

・稲・牛乳パック・すり鉢・すりこぎ棒

## 4. 探求活動の実践

## <活動内容>

以前収穫した稲からどうすればいつも食べるお米になるのかを考えてから、実際にもみを穂から外してとり、すりこぎでもみ殻を取る。友だちと協力しながら行い、時間をかけてやっと玄米になることを知る

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

収穫した稲をみて「切ったやつだ」 「どうやって殻をとるの?」

子どもの声・姿

牛乳パックにいれてしごき、 もみと穂をわけると 「できたできた」「結構とれてきたよ」 「腕がつかれる」と感想が様々

すりこぎでもみ殻を取り優しく息を 吹きかけてもみ殻を取ると 「お米出てきた!」 取り終えた玄米をみて 「こんなに時間がかかったのに、これだ けしかとれないんだ」と気づく。

そのあとの給食でも白米を大事に 綺麗に食べていた。



写真





## 5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

子ども達が今まで食べていた白いご飯も、「農家の人が育ててたくさん時間をかけてお米にしてくれている」ことを体験の中で学ぶことが出来ており、食事の際も大事にご飯を食べていたので、食育もかねて身近な自然ということで行えたのが子どもたちにより理解が深まり良かったと感じた。